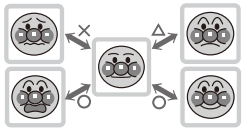
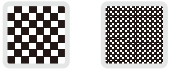
検証内容

ベビラボのプロジェクトでは、多くの赤ちゃんにご協力いただき、成長に従いどんなことができるようになるのか検証しています。
例えば、赤ちゃんは５～６ヶ月から表情の区別ができるようになりはじめますが、悲しい顔については７～８ヶ月になって区別がつくようになります。
ベビラボは、このような検証結果を、“赤ちゃんが分かる刺激と遊び”としておもちゃに取り入れることで、赤ちゃんの好奇心を引き出し、脳を育み※ます。

※BabyLabo®は、「好奇心を引き出し、遊びながら感じ、考えること」を脳を育むと考えています。

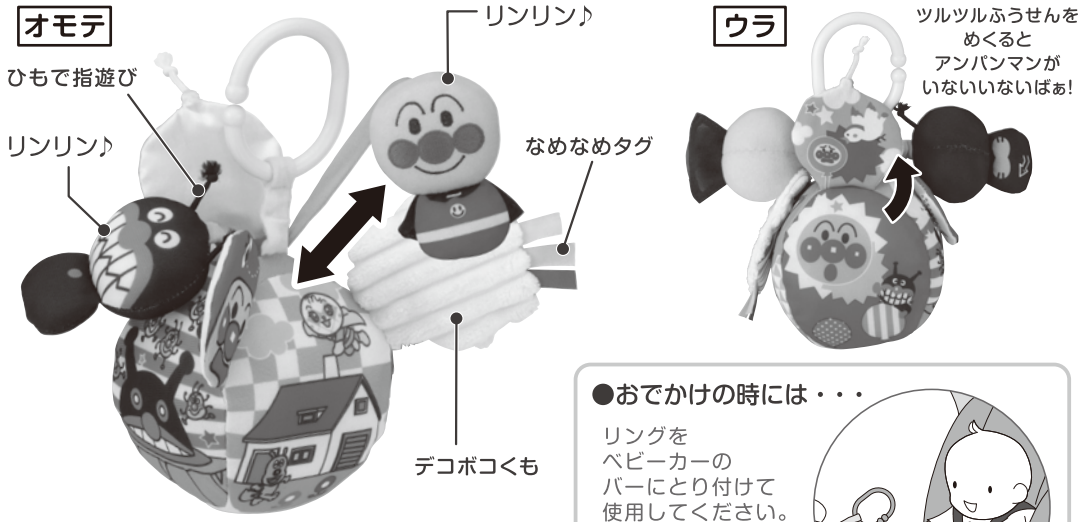
視覚

＜検証内容の一例＞

Step3 ねがえりの頃 5~6ヶ月	Step4 はいはいの頃 7~8ヶ月	Step5 つかまり立ちの頃 8~11ヶ月	Step6 たっちの頃 12~15ヶ月
★普通顔とさまざまな表情の区別がつきはじめる 	★普通顔と悲しい顔を区別できる 	成長にともない、見分けられるようになっている ★最初は2色の顔とカラーの顔ではカラーの顔に注目する傾向がある ★見慣れるとモノクロの顔とカラーの顔ではモノクロの顔に注目する傾向がある 	
★8×8と24×24のチェッカーボードを区別できる 			
★ぐるぐる模様を好む 		★にっこり顔とびっくり顔ではびっくり顔に注目する傾向がある ★にっこり顔とやられ顔ではやられ顔に注目する 	

※より詳しい検証の内容は、ベビラボホームページ（http://babylabo.jp）をご覧ください。
※上記の月齢はあくまでもめやすです。成長には個人差があるため、成長にあわせてあせらず見守ってあげましょう。
※表情認知は検証用の普通顔とキャラクター設定上のさまざまな表情の顔を比較した実験を行っております。検証用の普通顔は商品には含まれておりません。

遊び方



球体全体で パリパリ感触が楽しめるよ!

※ご使用の際は、リングを付けて遊んでください。

●おでかけの時には・・・

リングを
ベビーカーの
バーにとり付けて
使用してください。

※リングは無理に広げないでください。

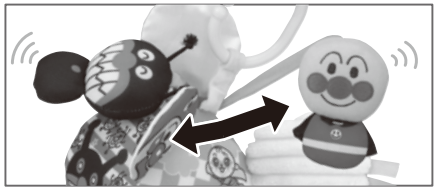
遊び方

6ヶ月~7ヶ月ごろにおすすめ

月齢	カテゴリー	赤ちゃん研究で明らかになった赤ちゃんの発達
6.5	手・視覚	6.5ヶ月の赤ちゃんは、大きな物には両手で手を伸ばす傾向がある。
	視覚・聴覚	6.5ヶ月の赤ちゃんは、音と物の関連性を認識できる。
7	視覚・聴覚	7ヶ月では、音だけよりも音のする物が見えた方が手を伸ばしやすい。

※上記の月齢はあくまでもめやすです。成長には個人差があるため、成長にあわせてあせらず見守ってあげましょう。

アンパンマンをひっぱってみよう!

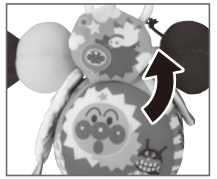


アンパンマンをひっぱるとばいきんまんがいっしょに動くよ！行ったり来たりする様子に赤ちゃんは夢中♪

つかんで音を鳴らそう♪

アンパンマンと
ばいきんまんは鈴の音入り。
つかんで、ふって、
音を鳴らせるかな？
リンリン楽しい音で赤ちゃん
もおおはしゃぎ！

いないいないばぁを見せてみましょう!



ツルツルの風船を
めくったら、
アンパンマンが
いないいないばぁ!
アンパンマンの登場に
赤ちゃんも大喜び♪

アンパンマンのいろんな表情を探してみよう!

赤ちゃんが月齢に合わせて
見分けられる表情がたくさん！
赤ちゃんと指さしをしながら
アンパンマンを探してみましょう！

8ヶ月~9ヶ月ごろにおすすめ

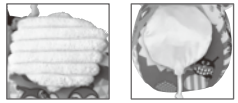
月齢	カテゴリー	赤ちゃん研究で明らかになった赤ちゃんの発達
9	手・視覚	9ヶ月頃から、掴もうとしている物の大きさに合わせて、あらかじめ手の広げ方を変えられるようになる。 13ヶ月になると、大人と同じように物に届く前に物の大きさに合わせて手を閉じ始めるようになる。
9	手・視覚	赤ちゃんは9~11ヶ月でつまむことができる。

※上記の月齢はあくまでもめやすです。成長には個人差があるため、成長にあわせてあせらず見守ってあげましょう。

パリパリ感触

いろんなところにパリパリが入っています。
両手で持ったり、
指先で触ったり、
だいすきなパリパリ
を楽しもう！

感触くらべ

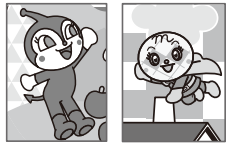


デコボコくもやツルツルふうせんを触って、違う感触を楽しもう！

指遊び

この頃は指先が上手に使えるようになってくる頃と言われています。
ひもを指先でつまんでみよう。
上手につまめるかな？

なかまたちを探してみよう!



メロンパンナちゃんや
ドキンちゃん、
いろんななかまたちを
探してみよう！

安全への取り組み　〈バンダイの品質基準は約370項目〉

バンダイでは、「安全で安心できる製品作りに徹し、世界のお客さまから信頼と満足を得られる商品を提供する」ことを方針に掲げ、品質保証の取り組みを進めています。

材料の安全

デリケートな赤ちゃんがさわったり、なめたりした際に危険な材料は使用しないよう、製品に含まれる物質については食品衛生法などを踏まえ、厳しい自主基準を設定し検査を実施しています。

化学物質に関する項目

○ホルムアルデヒド試験　○重金属8元素試験　○着色料溶出試験　など

設計の安全

万一の事故の際にも、おもちゃが壊れて赤ちゃんに危険が及ばないように、業界が定める品質・安全基準（ST基準）などを踏まえ、さらに欧米をはじめとする諸外国の玩具安全基準（ASTM、EN-71）を積極的に取り入れています。

設計・強度に関する項目

○小さな部品の安全性確認　○引っ張り・曲げ試験　○トルク試験　○落下試験
○可動部連続耐久試験　など

⚠ 注　意（ちゅうい）

保護者の方へ　必ずお読みください。

●取扱説明書・遊び方冊子(本紙)を必ずお読みください。●保護者のもとで遊ばせてください。●安全のため、破損、変形したおもちゃは使用しないでください。●火気や暖房器具の近くで遊ばせないでください。●ガスレンジやトーブ、ライター、花火などの炎に近づけないでください。生地に引火する恐れがあります。●安全には万全の注意をいたしておりますが、万一肌に異常が現れた場合には使用を中止してください。●ひもは、指などに巻きつけたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。●ひもを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

おとなといっしょ

ひにちかづけない

まきつけない

《使用上の注意》

※製品の仕様は品質向上のため、予告なく変更する場合があります。

●袋は開封後すぐに捨ててください。
●縫製部分は無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。

《洗濯上の注意》

●本商品はやさしく押すように手洗いしてください。
●よくすすいだあと、絞らずにタオルなどに押し付けるようにして水分を切り、形を整えてすぐに日陰で平干ししてください。
●色落ちの恐れがありますので、他の物と一緒に洗わないでください。
●漂白剤のご使用は変色の恐れがありますので避けてください。
●家庭用洗濯機、タンブラー乾燥機、アイロンのご使用は、縮む恐れがありますので避けてください。

<ベビラボ共同開発>
（株）日立製作所
（株）日立ハイテクノロジーズ
<検証協力>
5～8ヶ月:玉川大学 赤ちゃんラボ
8～15ヶ月:京都大学 発達科学研究室

★セット内容
本体…1個、おでかけリング…1個、取扱説明書・遊び方冊子(本紙)…1枚

≪電話受付先≫　バンダイお客様相談センター
〒277-8511　柏市豊四季241-22
ナビダイヤル　0570-041-101
●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

≪商品・修理品送付先≫
バンダイ　栃木修理・配送センター
〒321-0298　栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く）
電話番号はお客様相談センター共通

発売元　株式会社バンダイ
東京都台東区駒形1-4-8 〒111-8081

取扱説明書・遊び方冊子

ベビラボ®ってなに？　目指したのは、赤ちゃん満足度No.1！

ベビラボは**バンダイ**と**日立製作所**の共同プロジェクトで
赤ちゃんを研究して生まれました。
さまざまな検証で確認された、赤ちゃんが“分かる”より良い刺激と遊びが
いっぱいだから、遊びながら赤ちゃんの好奇心を引き出します。
赤ちゃんが本当に“分かる”おもちゃだから夢中になれる。
赤ちゃんの笑顔が、ママの笑顔に。ママの笑顔が、赤ちゃんの笑顔に。
これがベビラボの考える、おもちゃの重要な役割です。

赤ちゃんの時期に、成長に応じたより良い刺激と遊びを用意してあげることがとても大切です

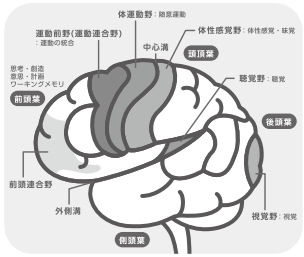
赤ちゃんは様々な可能性を持って生まれてきます。
赤ちゃんには、スポンジが水を吸収するように様々な能力を獲得してゆく期間があります。この時期には、成長にあわせたより良い刺激と遊びを用意してあげることが非常に重要です。
ベビラボのおもちゃには検証結果を取り入れた「成長に応じて赤ちゃんの好奇心を引き出す刺激と遊び」が盛り込まれています。
ママ・パパが一緒に遊んであげて、より良い刺激を与えて、赤ちゃん本来の力を引き出してあげることが大切です。

手や指を使うことはどんな風に脳にいいの？

手を繰り返し使うことで脳内の神経同士のつながりが強化され、脳が運動・行動を学習します。

手を使ってどのような行動をするかは、脳の前頭葉にある前頭連合野という部分が考えて計画を立て、運動前野(運動連合野)という部分に伝え、運動前野がどのように手と指を動かすかを決めて、体運動野という部分に伝え、体運動野が運動の実行指令を出しています。
この脳の各部のはたらきは、手の行動や運動を繰り返し行うことで、できるようになります。
手の行動や運動を繰り返すことで、脳内の神経同士のつながりが強化され、脳が運動・行動を学習します。
また手の基本的な使い方をマスターしておくと、他の運動を学習する時にもそのときに作られた神経回路網が働き、学習を助けてくれます。

脳は場所により分業して働いています



（小泉英明編著「育つ・学ぶ・癒す脳図鑑21」工作舎より）

詳しくは ベビラボ® ホームページへ　（http://babylabo.jp）

※取扱説明書の画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

BANDAI 2015 MADE IN CHINA

それいけ！アンパンマン
©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV